

# 令和5年度保護者アンケート

	評価項目	4	3	2	1
1	垣花小学校は「夢と希望を育み どの子どもも楽しく学び 生き生きと活動する 垣花っ子の育成」の教育目標にむかって取り組んでいる。	34.1	54.5	10.2	1.1
2	学校は、「よく考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」「ききあう子」の実現に向けて、工夫した取り組みを行っている。	33	54.5	11.4	1.1
3	学校・学級は、学習の内容や子どもの様子を各種のお便り・お知らせで知らせている。	43.2	42	14.8	0
4	学校は、保護者・地域の願いを受け止め、願いに沿った教育を展開している。	28.4	55.7	12.5	3.4
5	学校は施設の保清、安全管理に努めている。	29.5	64.8	5.7	0
6	学校は、子どもに基礎的な学力が身に付く取り組みや指導を行っている。	25	53.4	17	4.5
7	教職員は、子どもの能力や努力を適切に評価している。	31.8	47.7	15.9	4.5
8	学校は、社会におけるマナーやルール、規範意識を守る態度を育てるよう取り組んでいる。	34.1	52.3	9.1	4.5
9	学校は、不登校をなくすための支援や援助を行い、改善にむけて適切に取り組んでいる。	19.3	60.2	18.2	2.3
10	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	22.7	51.1	20.5	5.7
11	教職員は、子どもたちのよさや気持ちを理解し、共感的に接してくれている。	30.7	51.1	13.6	4.5
12	教職員は、子どものことについて相談に応じてくれる。	31.8	51.1	14.8	2.3
13	学校は、子どもたちが健康の保持・増進ができるよう、体力づくりや食に関する指導を行っている。	28.4	62.5	8	1.1
14	学校は、コロナウイルス感染予防に関する指導を行うことで、子どもたちの健康管理への意識を高めるようにしている。	30.7	62.5	6.8	0
15	学校は、自分たちの学校を誇りに思うよう地域の歴史とよさを理解する教育活動に取り組んでいる。	35.2	53.4	9.1	0
16	学校は、交通安全・事故防止に心がけ、適切な配慮や子どもへの指導を行っている。	35.2	56.8	6.8	1.1
17	学校は、地震や火災・津波などについて、子どもが避難の仕方を知り、自分の身は自分で守れるよう指導している。	40.9	55.7	3.4	0

## 考察

○17項目中全ての項目で肯定的な意見が8割を超えており、保護者は学校運営に対して理解を示している。

●昨年と比較して、17項目中10項目において落ち込みがみられた。特に落ち込みが大きい項目は、「9学校は、不登校をなくすための支援や援助を行い、改善にむけて適切に取り組んでいる。」が-14p、「10学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。」-11p、「6学校は、子どもに基礎的な学力が身に付く取り組みや指導を行っている。」が-5pであった。

・9の項目に関しては、登校復帰を果たした児童もいるものの、新規の不登校児童が増えている。そのため、学校だけで対応するのではなく、各関係機関と連携して対処して行く必要がある。

・10の項目に関しては、毎月のいじめアンケートを行い、子ども達との些細な様子も見落とさないように見守っていく必要がある。また、校内合同支援委員会で、学校の現状を職員全体で共通理解し、場合によっては、ケース会議を行い家庭と連携し対応していくと共に定期の教育相談を強化していく。

・6の項目に関して、話し合い活動、補習、朝の学習時間の減少、学習リズムの崩れが理由に挙げられる。対応としては、これらを教師が意識しながら日々の教材研究や補習、学力向上月間等を通して改善していく必要がある。